

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野の農と食伝承事業
事業主体 (連絡先)	安曇野市農業再生協議会 (事務局：安曇野市農政課 0263-71-2427)
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,216,410 円 (うち支援金：792,000 円)

事業内容

- ・地域農業のファンづくりと荒廃農地の解消に向け、地元JAと連携し、もち米等の栽培の農業体験を実施。
- ・収穫したもち米を活用し、市内認定こども園で食育の活動を行った。
- ・若い世代へ安曇野らしい食文化を継承するため、また、市内直売所・加工所の活性化に向け情報発信をした。
(Instagram、YouTube を活用)
- ・安曇野産農産物のファンを増やすため、市内の農業者を対象に講座を開催した。



【講座開催】



【動画撮影】

事業効果

- ①地元の園児、児童及び農業初心者など、日頃農業になじみのない人にさまざまな農に関する体験を通じ、地元農業に関心をもつきっかけづくりができた。
- ②SNS を活用した情報発信では、若い世代や子育て世代を中心に約 130 名のフォロワーを獲得することができ、今後の拡散効果も期待できる。
- ③日頃、伝統食継承等に取り組んでいる熟練の女性農業者からも動画の評価が高く、今後の伝統食継承等の新たな手法の1つとして可能性を広げることができた。
- ④SNS をきっかけに直売所の加工品を購入したり、加工所の講座に参加したという声も聞かれた。
- ②コロナ禍で、移動に制約がかかる中、オンライン・SNS の必要性の高まりを受け、生産者からはインターネットを通じた情報発信の仕方へのニーズが高く、タイムリーな研修を実施することができた。

【目標・ねらい】

- ①日頃農業になじみのない人に農業に親しみをもってもらう
- ②市の農業の魅力を発信する人材を育成
- ③市内直売所・加工所の活用促進

※自己評価【B】

【理由】・今まで地元の農や食に興味のなかった人たちにも、情報に触れるきっかけづくりをすることができた。
・農業者側には、情報発信の重要性を認識してもらうことで、市全体としての農業農村の発展に向けた機運の醸成を図ることができた。

今後の取り組み

- ・農業体験（安曇野田んぼファンクラブ）は、JA松本ハイランド明科支所を中心に次年度以降も事業は継続していく。
- ・Instagram や YouTube を使った情報発信で、子育て世代や学生などに安曇野の食文化や農に興味をもってもらうことができ、また、SNS になじみのなかった高齢の世代に伝統食継承の新たな手法として評価されたため、次年度以降も、新たな動画を作成するなどし、事業を継続する。また、今年度は、市内の認定こども園1園で食育の取組みを行ったが、来年度は、市内学校等と動画を活用した学習について話を進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある